

| | | | |
|-------------------|----------|--------------------|---------------------------------|
| 平成 2 2 年度 実施事業 | | 事務事業名 二次予防事業 | |
| 区分 | 番号 | 名称 | |
| 章 | 1 | やさしさと共生するまち | |
| 節 | 3 | 誰もが安心して暮らせるまちをつくる | |
| 施策 | 2 | 高齢者福祉の確立 | |
| 小分類 | 2 | 高齢者福祉の充実 | |
| 主要な施策 | 1 | 介護予防、生活支援サービス機能の充実 | |
| 事務事業番号 | 006 | 事務事業コード 13221006 | 事業開始年度 平成 2 0 年度 事業終了年度 平成 - 年度 |
| 会計種別 | 介護保険特別会計 | | 予算書上の事務事業名 二次予防事業費 |
| 部 名 | 保健福祉部 | グループ名 | 高齢・介護 G |
| 統合前または名称変更前の事業名 | | 特定高齢者事業 | |

| 事務事業の目的と成果 | |
|------------------|---|
| 目的 | <p>(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> <p>65歳以上の方を対象に、今後、要介護状態になる恐れのある「二次予防事業対象者」を把握する。 二次予防事業対象者を対象に、訪問型介護予防事業、通所型介護予防事業を実施する。</p> |
| 手段 (事業の内容・活動) | <p>(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> <p>二次予防事業対象者把握事業：介護予防健診、本人・家族からの相談、健康教室等で基本チェックリストを実施し、今後、要介護状態になる恐れのある二次予防事業対象者を把握する。</p> <p>二次予防事業評価事業：二次予防事業全般に対して、プロセス評価（事業が適切な手順・過程を経て実施出来ているかどうか）、アウトプット評価（介護予防事業の実施状況の評価）、アウトカム評価（介護予防事業による効果の評価）を実施する。</p> <p>訪問型介護予防事業：二次予防事業対象者を対象に、保健師等が家庭を訪問し、介護予防や健康づくりに関するアドバイスをを行う。 22年度実績 実件数：1件 延べ件数：1件</p> <p>通所型介護予防事業：二次予防事業対象者を対象に、運動器の機能向上、口腔機能の向上、栄養改善、閉じこもり・認知・うつ予防改善などあらゆる面から介護予防を図るため、かるやか教室を開催する。市内3会場（鷺別公民館、新寿の家、老人福祉センター）で一次予防事業対象者（65歳以上の高齢者）と合同で実施する。 22年度実績 回数：70回 実参加人数：45人 延べ人数：294人</p> |
| 成果 | <p>(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> <p>高齢者が要介護状態にならず、元気で自立した生活を送ることが出来る。 二次予防事業対象者が介護予防事業を利用することにより、心身の機能を維持・向上させることが出来る。</p> |
| 根拠法令等 | <p>(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> <p>介護保険法。地域支援事業実施要綱。</p> |

| 指標の推移 | | 区分 | 単位 | 22年度実績 | 23年度目標 | 24年度目標 | 25年度目標 | 26年度目標 |
|-------|--------------|----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 成果指標 | 二次予防事業対象者数 | 人 | 目標値 | 455 | 2,743 | 2,743 | 2,743 | 2,743 |
| | | | 実績値 | 458 | | | | |
| | 事業利用者の維持・改善率 | % | 目標値 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| | | | 実績値 | 100 | | | | |

事業費の推移

| 区 分 | | 単位 | 22年度 決算 | 23年度 当初予算 | 24年度 見込 | 25年度 見込 | 26年度 見込 | 24～26 年度 |
|---------------------------------|---------------------|-------|------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|
| 事業の 財源内訳 | 国庫支出金 名称 地域支援事業補助金 | 千円 | 2,258 | 2,185 | 2,011 | 2,011 | 2,011 | 6,033 |
| | 道支出金 名称 地域支援事業補助金 | 千円 | 1,129 | 1,092 | 1,005 | 1,005 | 1,005 | 3,015 |
| | 地方債 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | その他 名称 社会保険診療基金・保険料 | 千円 | 4,517 | 4,369 | 4,025 | 4,025 | 4,025 | 12,075 |
| | 一般財源 名称 | 千円 | 1,129 | 1,092 | 1,005 | 1,005 | 1,005 | 3,015 |
| 合 計 | | | 9,033 | 8,738 | 8,046 | 8,046 | 8,046 | 24,138 |
| (参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費 | | 職 員 | 千円 | 2,889 | 4,902 | | | |
| | | 嘱 託 員 | 千円 | 0 | 0 | | | |
| | | 臨時職員 | 千円 | 0 | 3,403 | | | |
| | | 合 計 | | 2,889 | 8,305 | | | |

担当グループによる事務事業評価の内容

| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
|---------------------------------------|---|---|--|
| 今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？ | → | 妥当である 妥当ではない | → 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 介護保険法により実施が義務付けられており、今後も市が実施主体として実施していくことが妥当である。 |
| 2. 事務事業の成果について | | | |
| 成果はあがっていますか？ | → | 成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない | → 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 事業を利用した方の維持・改善が図られており、成果があがっている。 なお23年度は、二次予防事業対象者把握方法を変更し、二次予防事業対象者が増加見込みである。 |
| 3. 事務事業の成果向上について | | | |
| 成果を向上させることはできますか？ | → | 大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない | → どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 広報活動等により、介護予防事業の利用者増大を行う。 |
| 4. 事務事業の経済性・効率性について | | | |
| 成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？ | → | 削減できる 削減できない | → どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 最低限コストで実施しており、これ以上の削減は難しい。 |

担当グループによる評価

| | | |
|----|----------------------|--|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） | 介護保険法において、実施が義務付けられている事業であり、今後も高齢者が要介護状態にならないように支援して行く為には必要な事業である。 |
|----|----------------------|--|

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

| | |
|----|----|
| 維持 | 備考 |
|----|----|

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）